

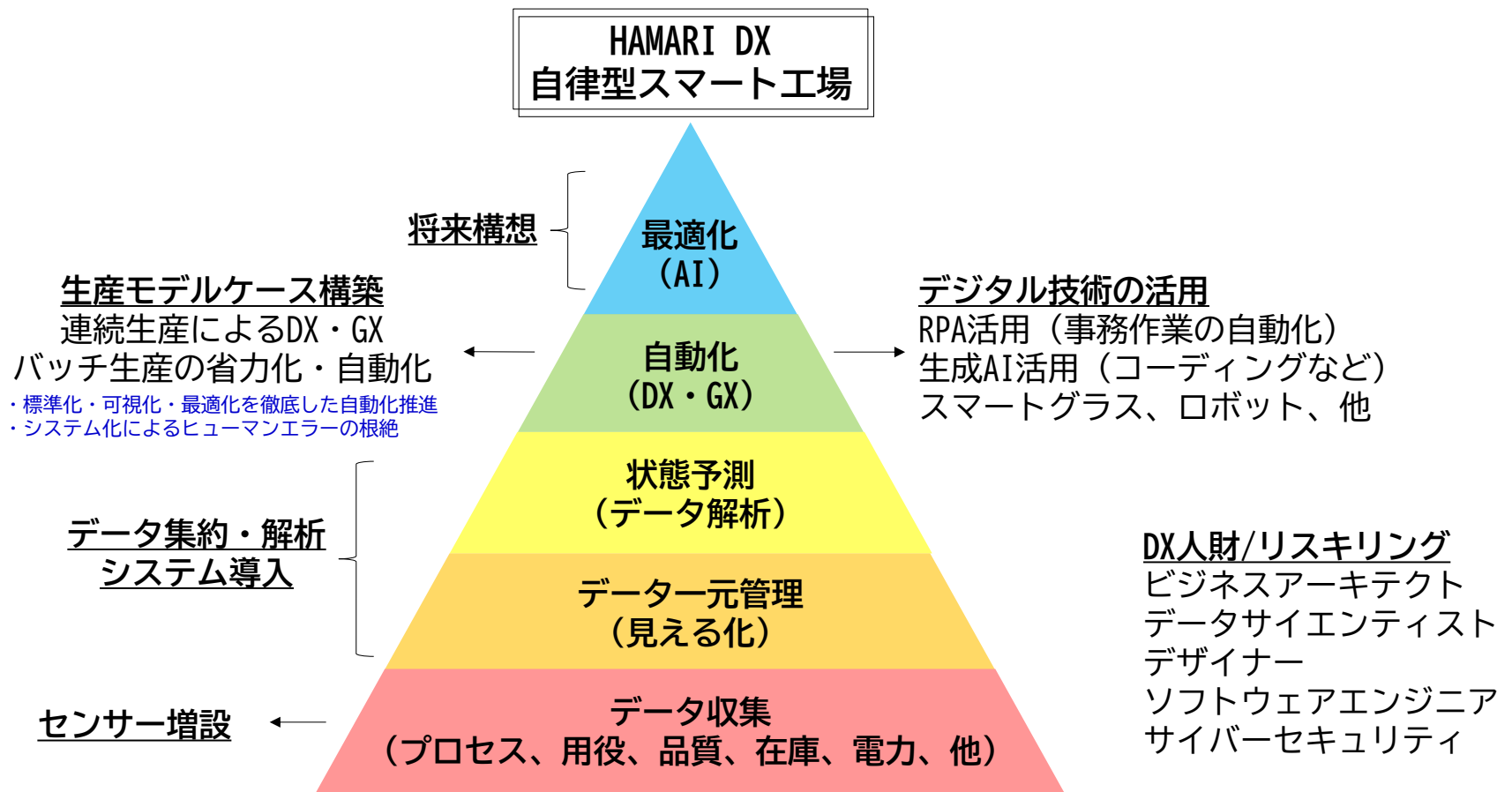
DX認定制度 WEB公表

当社のDXへの取り組みについて

2026年7月16日



1. 当社経営ビジョン
2. DX推進戦略について
3. DX推進体制について
4. DX推進のためのITシステム・デジタル環境の整備
5. DX推進における指標
6. 当社のDXへの取り組みについて 代表メッセージ
7. 情報セキュリティ基本方針について



当社は、HAMARIの中核として、医薬品原薬・中間体メーカーに従事し、時代の変化や人々のニーズに的確に応えてきました。HAMARI DXの実装により、更なる安定供給を行います。

お客様

製薬企業様、医薬品開発企業様
医薬品開発中の大学様

**GMP品質を有する医薬品原薬・中間体
を必要とする企業・団体**

ニーズ

Q：高純度の品質を有する原薬・中間体
C：納得のいく価格・サービス
D：受託レベルで確実な納期の提供
E：環境に配慮したものづくり
S：労働安全衛生への取り組み

顧客満足度の高いQCDES

ノウハウ・強み

40年超にわたる受託の歴史
500～8,000Lの種々の反応缶
成功するまで諦めない粘り強さ

**多様な技術実績と設備群
活発な5S活動**

事業価値

大量の原薬・中間体を高い技術で納品できるGMP工場

お客様

製薬企業様、医薬品開発企業様
医薬品開発中の大学様

**GMP品質を有する医薬品原薬・中間体
を必要とする企業・団体**

ニーズ

従来のQCDES要求に加え
逸脱・トラブルが皆無
要求した通りのスマートな製造
要望に対し、柔軟な生産対応
持続可能性の条件を満たしている

逸脱・トラブルゼロの安定供給

ノウハウ・強み

データの一元管理・見える化
逸脱を未然に防ぐシステム化
逸脱・トラブルゼロで
省エネ、省力化、コスト削減
→ **CS・ES 満足度の最大化**

**データやデジタル技術を駆使した
自律型スマート工場**

事業価値

逸脱・トラブルゼロの安定供給で、お客様に選ばれ続けるGMP工場

2. DX推進戦略について

DX推進戦略の具体的な取り組み① HAMARI DX

1. データ収集

製造プロセスやユーティリティデータについてはセンサーを増設し、品質データなど他の基幹システムとの連携を図ります。

2. データ一元管理（見える化）

各システムや記録計のデータをリアルタイムに一元管理し、工場全体の可視化へとつなげていきます。

3. 状態予測（データ解析）

得られたデータを解析し、異常が発生する前にアラート機能で対応します。問題の早期発見と解決を行い、安定生産へと結びつけます。

4. 自動化（DX・GX）

生産モデルケースの構築として、DCSやPLC制御を駆使し、連続生産およびバッチ生産の省力化・自動化に取り組めます。また、RPAや生成AI、ロボットなどのIoTやデジタル技術を用い人財不足の解消および生産性向上による競争力強化を図ります。

5. 最適化（AI）

AIを活用した最適化を図り、自律型スマート工場を目指します。



DX推進に関するディスカッション

2. DX推進戦略について

DX推進戦略の具体的な取り組み② 人財育成

1. 社内教育制度「HAMARIアカデミー」の一部として、グループ全体を対象としたITやセキュリティに関する教育を定期的実施します。
2. DXやデジタル技術に関する外部講習会や社内講習会を開催し、各人のレベルアップを図ります。
3. 経済産業省「デジタルスキル標準（DSS）」に基づき、DXリテラシーやDX推進スキルを学びます。

DX推進スキル

1. ビジネスアーキテクト
2. データサイエンティスト
3. デザイナー
4. ソフトウェアエンジニア
5. サイバーセキュリティ



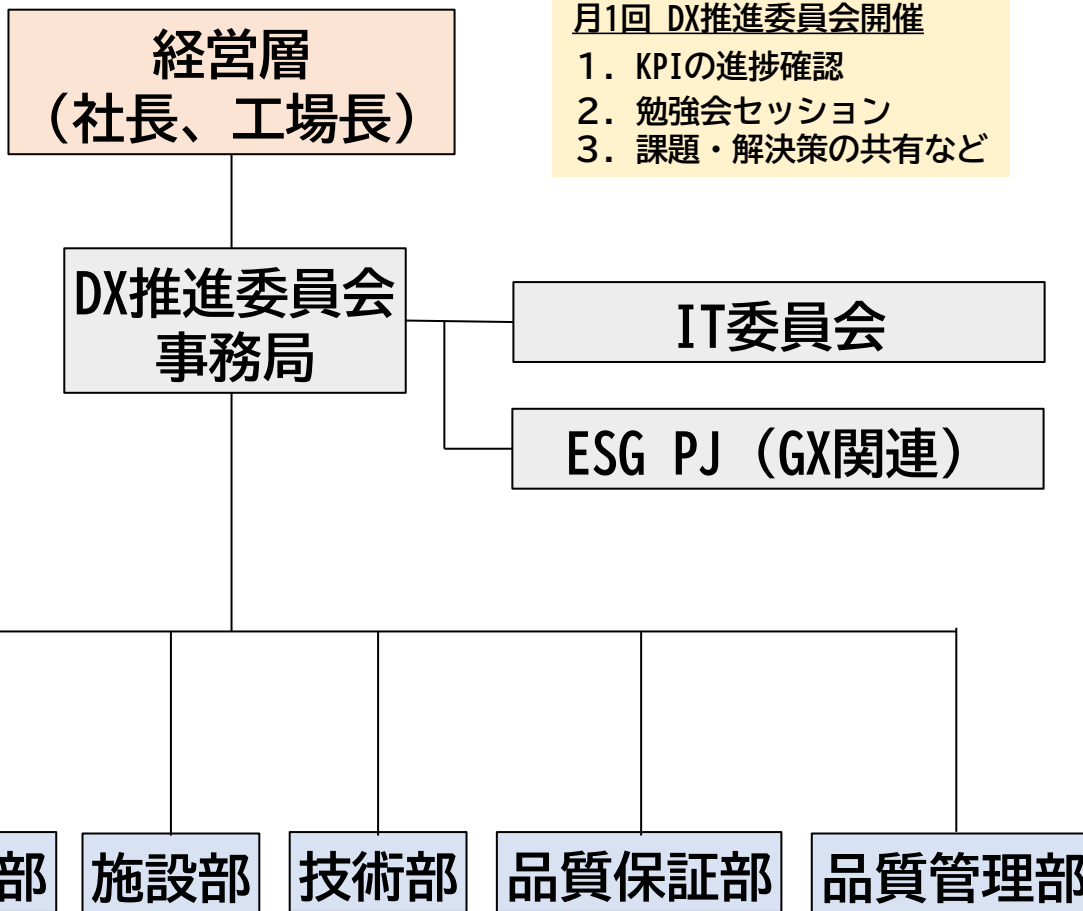
RPA社内講習会

3. DX推進体制について

当社はDX戦略を実現するため、経営層を責任者とし、DX推進委員会が全社から意見を集約・報告する体制を構築しています。この推進体制のもと、HAMARI DXに向けた積極的なチャレンジを行います。



DX推進委員会



4. DX推進のためのITシステム・デジタル環境の整備

当社はDX推進戦略のためのITシステム・デジタル技術活用環境の整備をスピード感を持って進めます。重点テーマとして、人由来の逸脱対策と装置由来の逸脱対策に取り組みます。

●人由来の逸脱対策

IoT、デジタル技術を用いた人間中心のシステム化



●装置由来の逸脱対策

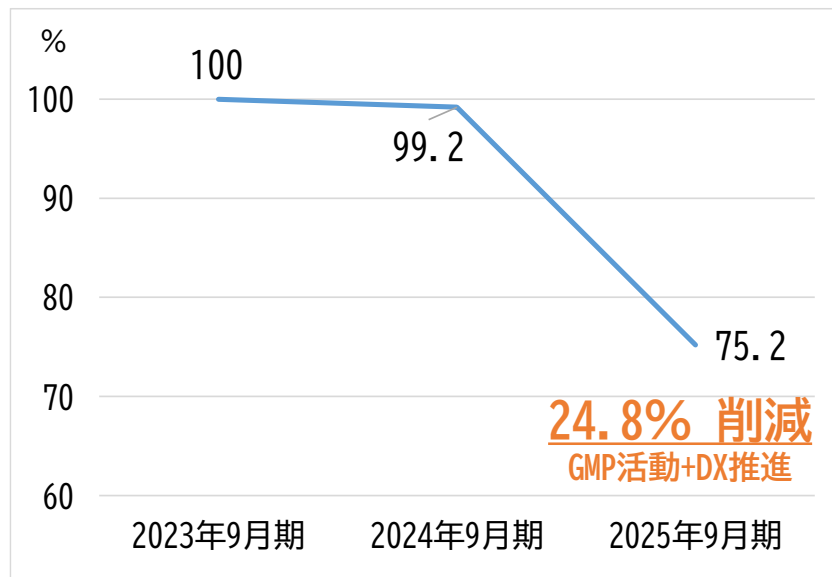
工場内の主要機器にセンサーとIoTツールを設置
データ収集、可視化による状態予測でトラブルの未然防止



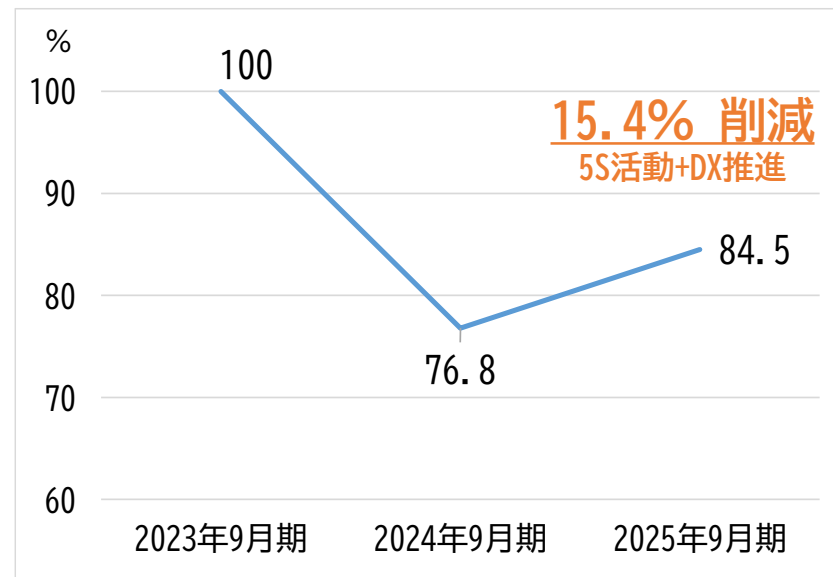
5. DX推進における指標

当社のDX戦略達成状況に係る指標として、
月1回のDX推進委員会にて状況を把握します。

1. ITシステム・デジタル技術の活用状況
2. 逸脱の低減状況（人由来、装置由来等）
3. 生産性向上（業務時間の短縮、コストの削減等）



逸脱・アクシデント・インシデント件数



1人あたりの平均残業時間



6. 当社のDXへの取り組みについて 代表メッセージ

当社はDX戦略として、HAMARI DXを推進していきます。
そのために、以下のDX推進指標の取り組みと合わせて進めて参ります。

1. 全社的な意見を取り入れてビジョンを明確化し共有を図ります。
2. 全社員にビジョン実現の重要性を伝えます。
3. 経営戦略の中でDXの位置づけを明確にし、全社的な取り組みを推進するための方針を策定します。
4. 経営層が挑戦と学びの文化を推進し、それを組織全体で共有するための方針を策定します。
5. 全社的なDXの取り組みを支援するための方針や戦略を策定します。
6. 人財育成・確保のための制度や計画を全社的に整備・実践し、経営の下での取り組みを強化します。
7. 全社的な改革の取り組みを促進するための戦略や計画を策定し、各部門との連携を強化して取り組みます。
8. ビジョン実現のためのITシステム投資計画を策定し、実施します。
9. IT投資の方針を明確にし、技術的負債の低減と価値創出のための資金・人材の配分を全社的に実施する方針を策定します。

代表取締役社長 渡部輝良



7. 情報セキュリティ基本方針について

当社は、情報セキュリティ基本方針を定め、実践しています。

1. 情報資産の保護
2. 法令、契約上の要求事項の遵守
3. 教育、研修の実施
4. 継続的な改善



- IPAの「SECURITY ACTION」の趣旨に賛同し、二つ星を宣言
- IT委員会による定期打合せ、評価の実施
- 品質保証部による自己点検（内部監査）の実施
- ウイルス対策ソフトおよび適切なファイアウォール運用
- コンピュータ化システムのGxP適合へのリスクベースアプローチ（GAMP5）に基づいた「CSVセキュリティ管理に関する手順書」の運用
- 情報セキュリティに関する外部研修の定期受講

